

EVENT 117 MARKETING

発行所：株式会社 MICE 研究所
〒105-0004 東京都港区新橋 5-12-9 ABCビル 4F-A
TEL03-6721-5303 sof@event-marketing.co.jp

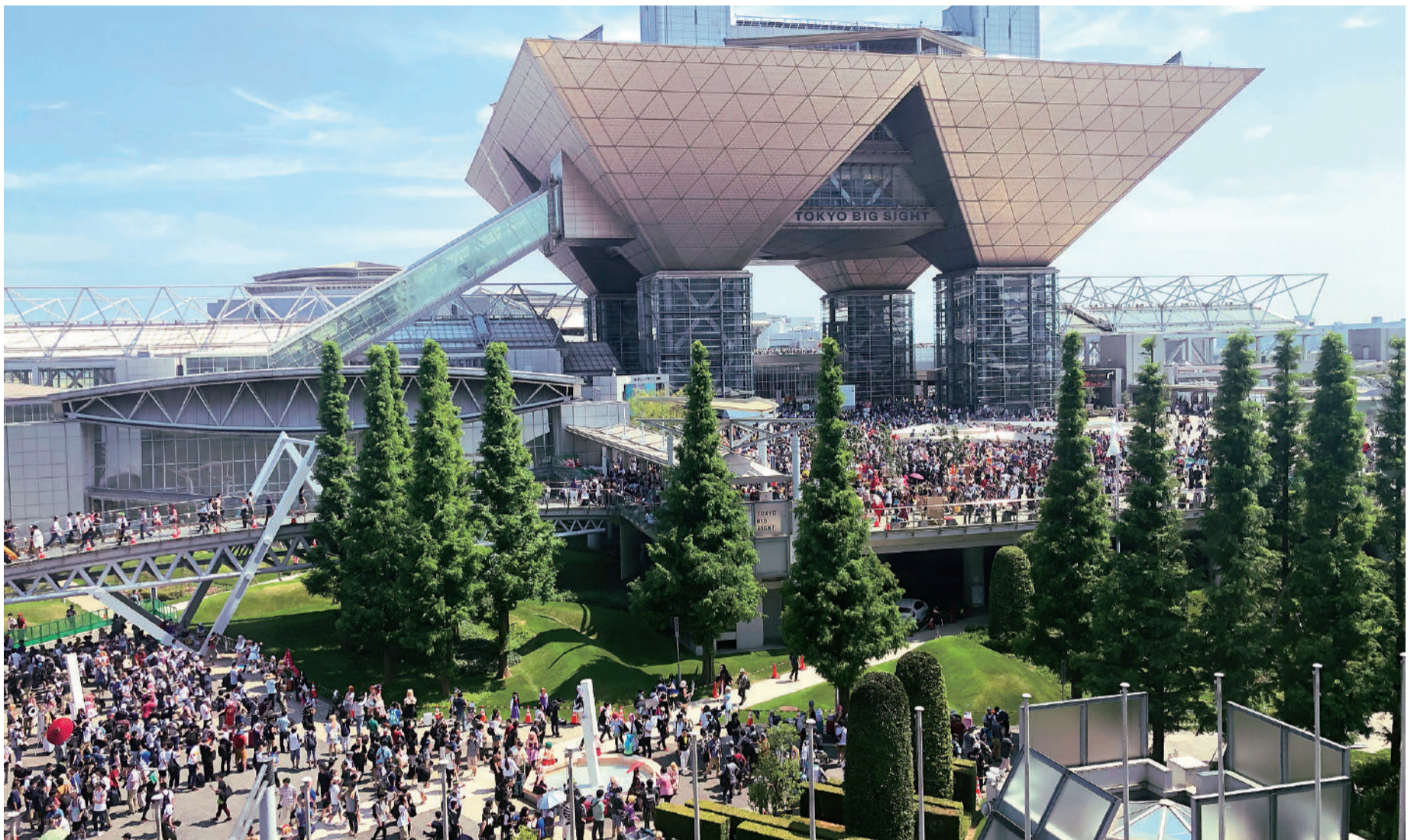
特集 イベント会場特集
～聖地巡礼・進化するコンテンツと
機能するインフラ～



展示会開催宣言！
「Japan IT Week 春 2025
(IT・DX・AI 総合展)」
RX Japan 株式会社
丹野史也さん

TAKE FREE www.event-marketing.co.jp

乳と蜜の流れる地で会おう



写真提供：コミックマーケット準備会

ロデム変身、地を駆けろ〜♪。アニメ「パピル2世」で超能力少年が住むバベルの塔が、旧約聖書の「創世記」に出てくるのを知ったのは、わりと大人になってからだった。

天まで届く高い塔を建設しようとして、神様に壊されてしまったという、訓戒だ。それでも人は懲りずに、すべてを一つに収める巨大都市に憧れる。1990年代には地上高1万メー

ルの東京バベルタワーなんていう構想が現実にあった。

だが都市とは、本当に“建てる”ものなのだろうか。

歴史を遡れば、仏・シャンパーニュの大都市（フェア）は、定期的に巡回する市に商人や芸人、観客が集まり、金融機能、物流、宿もすべてが仮設で、約6週間の会期後は消えてな

くなっている。現代でもバーニングマンのような期間中のみの都市は健在だ。

場所よりも人の関係性が生み出す都市。コミックマーケット開催日の東京ビッグサイトには、数十万人が集まり、ルールが生まれ、秩序が保たれ、人の流れが街を変えていく。会場準備も、物流もすべて自分たちで回して、そこには確かに“都市”がある。熱量と秩序が

同居し、文化を愛し、人が出会い、大切な思い出をつくる理想の都市だ。

趣味や志向が交差し、記憶が重なる都市。イベント会場は誰かにとっての“聖地”になっているのかもしれない。

今回の特集では、そんな数日だけの理想の都市＝聖地である、イベント会場の姿を追いかけた。
(編集部:田中力)

**リアルもオンラインも
ビジネスイベントを
もっと簡単に**

イベント主催者の悩みをすぐに解決できる
イベントマーケティングプラットフォーム

お問い合わせはこちら

充実した機能

- オンライン決済 / 領収書データ発行 (インボイス制度対応)
- QRコードチェックイン / 来場者・視聴者トラッキング
- ビジネスマッチング / タイムテーブル / 抽選 (事前審査)
- プロモーションコード / 来場通知メール and more...

BtoB イベント実績多数

- ビジネスカンファレンス / セミナー・ウェビナー / 展示会
- プライベートショー / 自治体主催イベント
- ユーザーコミュニティ / マーケティングイベント / ミートアップ
- リアル・オンライン・ハイブリッドイベント



イベント会場特集

聖地巡礼・進化するコンテンツと機能する

イベント会場は単なる“箱”ではない。そこで文化が生まれ、人々のつながりが生まれる。このイベント＝(イコール)この会場、と多くの人が連想することによって、イベントのブランディングに貢献する、そんな相互作用する存在だ。本特集では、会場とコンテンツが互いに進化し合い、“聖地”として人々を引き寄せる現象に迫る。

コミケの聖地 **東京ビッグサイト** **コミックマーケット準備会**

30年の共生関係が育んだサブカルのレガシー

逆三角形の特徴的な建築物を背景に、さまざまなキャラクターに扮したコスプレイヤーと写真を撮る人たちが人だかりをつくる。毎年8月と12月の各2日間は、世界最大の同人誌即売会「コミックマーケット（通称：コミケ）」が開催され、普段はビジネスマンが往来する東京ビッグサイトが、マンガ・アニメ・ゲームファンの“聖地”となる。

東京ビッグサイト定住前はヤドカリのように転々と

1975年、わずか32のサークルと約700人の参加者で始まったコミケは、「1フロアの会議室から、人数が増えたとそれに合わせて大きな会場にと、ヤドカリのようにイベント会場

を転々とした」とコミックマーケット準備会共同代表の安田かほるさんは振り返る。

1981年から東京国際見本市会場（通称：晴海）で開催し、晴海の閉鎖に伴い、1996年に開業した東京ビッグサイトへと移転。

安田さんは東京ビッグサイトの魅力として“広さ”を第一に挙げる。現在約3万のサークルと30万人以上の参加者を集める巨大イベントに成長したコミケ。“来たい人全員に開かれた「場」という理念を受入れられる会場は他にない。

ホール間の連携、屋外スペースまで含めた総合的な会場利用が可能なのも、東京ビッグサイトの大きな強みだ。晴海開催では、ホール間の広い空間でコスプレや交流の場がもた

れたが、東京ビッグサイトは人が滞留する空間は多くはない。現在では2日間のべ1万人以上のコスプレイヤーが参加する規模に対応するため、西の屋上展示場や会議棟の足元近くにある庭園等をコスプレエリアとして、交流の場にするなどの工夫をしてきた。

参加者が自らコミケをつくるボランティアの全員打合せ

展示棟の大小様々な会議室もコミケの理念実現に一役かっている。

「第1回開催の時から立ち上げスタッフ4人だけではなく、出展サークルの皆さんに手伝ってもらいました」（安田さん）。以来“参加者

全員でつくるコミケ”がモットーとなった。「出展サークルさんと一般参加者という分けも本来はしたくない。全員同人誌が好きな人だからという理念ですが、皆さんこの意識があるので、長い待ち時間や暑さ、寒さをガマンしてもらえるのかもしれない」と安田さんは語る。

“参加者全員でつくる”の言葉どおり、ボランティアの運営スタッフは約3,000人にのぼる。開催前にはほぼ全員が参加する規模の集いや、各部門に分かれて会議を行うため、東京ビッグサイトの会議棟の規模と部屋数は、コミケ開催の必須条件となっている。本番の会場を見ながら会議や打合せできるのも利点だ。



写真提供：コミックマーケット準備会



写真提供：コミックマーケット準備会

JSS
24HOURS/365DAYS

JSSはあらゆるシーンをまもります
JSSは警備のプロフェッショナルです

施設警備
航空保安警備
イベント警備
身辺警備
交通誘導
保安警備

<https://www.j-ss.jp/>
東京 神奈川 千葉 大阪 宮城

EVENT Lab.
Expo&Convention Organizer System

出展者との書類のやり取りが大変？
ECOSで簡単に解決！

来場者・出展者・セミナーをシステムでまとめて管理！
「展示会」「就職セミナー」「お祭り」など
多数イベントにご導入いただいております。

公式サイトをチェック

株式会社イベントラボ 神奈川県横浜市中区桜木町1-1-8 日石横浜ビル15F 045-263-9177

インフラ

会議棟は“逆三角形の建物”として、国内外の参加者にとって重要なランドマークとなっている。SNSに「コミケに来ました」と投稿する際、画角に入れるのが定番となっており、東京ビッグサイトはコミケを通じてマンガ・アニメ・ゲーム文化の象徴と認識されている。

会場スタッフの柔軟な対応も運営を支える。「25年も一緒にやっているのだから、考え方や基本的な情報はすでに共有されていますが、年中打合せをしています。大規模改装時の対応といった大きな話題から、あそこの扉のノブが動かないといったものまで、何かあればすぐ連絡して相談しています」(安田さん)

今年12月、コミケは創設50周年を迎える。長年にわたるコミケと東京ビッグサイトの関係は、単なる施設利用を超え、文化の“場”として機能してきた。互いに価値を高め合いながら、日本のサブカルチャーの聖地としての地位を確立したその関係は、これからも続いていくだろう。

コミックマーケット準備会

安田 かほるさん



サステナブル Well-being の聖地

九段会館テラス コンファレンス&バンケット
東京ポートシティ竹芝 ポートホール/ポートスタジオ

サステナブルな活動 発信力高める場とは



九段会館テラス コンファレンス&バンケット

創建時の素材を再利用して復元し、再び宴会場として利用した現在の「バンケットホール真珠」(写真上)。軍人会館から続く歴史ある空間(写真右下)を登録有形文化財として壁や天井を創建時の意匠で保存する、動態保存が特徴的な会場

都内で10施設、ビルイン型のホール・会議室を運営するインフィールド。なかでも、「九段会館テラス コンファレンス&バンケット」(以下、九段)と「東京ポートシティ竹芝 ポートホール/ポートスタジオ」(以下、竹芝)では、サステナブルや Well-being がテーマのイベント開催が顕著だという。コロナ禍後、増加傾向の理由を会場担当者に聞くと、2会場が選択される共通点はビル全体の運営

方針が影響しているようだ。

九段担当・福田康介さんは「2022年10月に『九段会館』として開業した再開発ビル『九段会館テラス』

株式会社インフィールド
九段会館テラス
コンファレンス&
バンケット担当
福田康介さん



東京ポートシティ竹芝 ポートホール/ポートスタジオ

「雨・水・島・水田・香・菜園・蜂・空」の8つの景から成るスキップテラスで「竹芝新八景」を展開する「東京ポートシティ竹芝オフィスタワー」。1F・8Fに位置する会場では、ビルの活動も含めサステナブル対応サービスをまとめたページも用意

内にある会場です。東急不動産と鹿島建設が共同し、登録有形文化財である旧九段会館を一部保存・復元した動態保存の建築物というストーリーがあります」とテーマとの親和性が会場決定の後押しになっていると話す。

また、竹芝担当・萬谷麻未さんは「ファット・シヨ × サステナビリティがテーマの『WWDJAPAN サステナビリティ・サミット』

株式会社インフィールド
東京ポートシティ
竹芝 ポートホール/
ポートスタジオ担当
萬谷麻未さん



ではサステナブル対応についてビル全体からホールまで提案できる全てをお伝えして、会場に選ばれた経緯があります」と説明する。例えば、東急不動産では自然と共生する新時代のオフィスビルとして再生可能エネルギーが使用電力として対応できることや、ビル5階スキップテラス「蜂の景」のミツバチの養蜂から採れたはちみつを使用してケータリング会社とメニュー提案するなど、一つひとつ積み重ねてサステナブルに対応。2022年4月にはwebサイトに専用ページをまとめている。会場はイベントテーマの発信力となるのだ。



私たちが目指すもの



昭栄美術は循環型ディスプレイで展示・イベント業界の持続可能性に取り組んでいます。

大型3Dプリンター活用

廃棄物を資源とする循環システム構築

FSC認証木材使用

環境に配慮した素材の管理及び使用

ISO認証取得

第三者認証による継続的な品質保証



業界に先駆けてISO20121の認証を取得し、環境や社会の持続可能性に配慮した展示会・イベントを実現する総合ディスプレイ企業です。

株式会社 昭栄美術

東京本社
東京都中央区明石町8-1
聖路加タワー25F
TEL: 03-5148-6651

大阪オフィス
大阪府大阪市住之江区
南港中1-3-92
TEL: 06-6613-6622

上海オフィス
昭栄(上海)展覧服務有限公司
上海市浦东新区東方路971号
錢江大廈3樓310B号室

北京オフィス
昭栄(上海)展覧服務有限公司
北京分公司
北京市朝阳区十里堡甲3号
万科时代中心 4F-B-06



好アクセス・ロープライス・フレキシブル!
TRCイベントホール

イベント開催の問題は私、「かいつ」が解決します!



見本市・展示商談会・試験会場・社内研修・販売会・その他イベント全般に使用できます!

イベントホール

広さが選べる1,000㎡~8,500㎡
都内有数の大型多目的ホール

1,000㎡~8,500㎡ 49万円~

会議室

幅広い用途に使用可能な会議室

100㎡~330㎡ 1.3万円~



第一展示場



第二展示場



会議室



東京駅から品川駅まで約15分
浜松町駅から羽田空港まで約10分

東京モノレール流通センター駅 徒歩1分



詳細は二次元コードからアクセス!

株式会社東京流通センター
TEL: 03-3767-2190

駐車場設備(有料)もございます!

複合イベントの聖地

サンシャインシティ

アーティストと展示会が同居する街



噴水広場はアーティストの登竜門



展示場と他施設が連携するイベントも

アーティストの登竜門として知られる噴水広場から多様な展示会が開催されるコンベンションセンターまで、サンシャインシティは池袋のランドマークとして多彩なイベントの舞台となっている。1978年の開業当初から単なる施設群ではなく"街"として設計された。

噴水広場では、デビュー間もないアーティストがここから有名になった事例が多く、ジnkスのようなブランド価値が生まれた。「屋内の商業施設内にあり、天候の心配がないのと、ファン以外の来場者と接点を持つのが強み」と(株)サンシャインシティの上原良太郎さんは話す。

一方、展示会場としての強みは"面"での展開が可能な点だ。毎年5月に開催される沖縄をテーマにしたイベントでは物産展、ステージ、ピアガーデン、サンゴ水槽の紹介など、館内回遊型の体験を提供している。

異なる性質のイベントを同じ施設で扱うメリットも大きい。展示会では商業施設との連携がアフターコンベンションに貢献し、BtoCイベントでは展示会のノウハウが活きる。

近年はアニメ・サブカルチャー関連イベントも増加し、池袋エリアの企業・団体が一体となりまちづくりを進める共同体"池袋エリアプラットフォーム"を通じて池袋全体の価値向上にも貢献。アイドル、アニメ、展示会が交差する"街"として、サンシャインシティは池袋の未来を照らす太陽の役割を果たしている。

違うタイプの催事で多様な人との接点を



株式会社サンシャインシティ
コンベンション事業部
ミドルマネージャー

上原 良太郎さん

IPの聖地

Shibuya LOVEZ

「人」と「IP」をつなぐ場



2000名収容の「Shibuya LOVEZ」外観パース(上)と客席パース(左)

人と、社会と、世界に繋がれる場を

株式会社バンダイナムコベース
代表取締役社長
鈴木 孝明さん



ラブライブ!、アイドルマスター、機動戦士ガンダム、アイドルリッシュセブンなど、幅広い年代に人気あるIPを持つバンダイナムコグループ。世界観や特性を活かしたIP価値の最大化で戦略展開するなか、IPの体験を届ける場、そして新たなIPを創出する場として、「Shibuya LOVEZ(シブヤラブズ)」が2026年夏、渋谷に開業する。

施設名の決定が発表されたのは3月3日。運営は、株式会社バンダイナムコベースで、バンダイナムコミュージックライブの常務も務める鈴木孝明さんが代表を務める。ライブ会場の所有および運営は、グループ初の事業ながらも、ライブを制作側で支えてきた経験豊富なメンバーによる設計が特徴だ。

施設名の由来は、LOVEとEZからの造語

でハンガリー語で「これが大好き」という意味を示す。鈴木代表は「エンタメ業界の一層の発展に寄与できることを目指し、人と、社会と、そして世界に繋がれる場所を提供していきます。IPと場所、IPとファンの体験によって、価値が磨かれていけば嬉しい」と展望するとともに、さまざまな「好き」を応援したいという思いが込められていると話す。

2000名の収容規模へのこだわりも、ファンとアーティストにとって熱量が間近に感じられ、かつ、注目度が加速する分岐点でもあるというライブ経験からだそう。

「日本が世界に誇るIP、エンタメを味わってほしいですね」(鈴木代表)

Deeply Immersive Experience

最近、よく耳にするようになった「イマーシブ空間」は、イベントやエンターテインメント空間はもちろん、店舗やオフィス、教室など、多くのシーンで、高い体験価値を提供することができます。私たちはそのイマーシブ空間を様々な課題解決に活用できると考え、イマーシブ空間の創造をゴールとするのではなく、お客様のゴールを達成するためのツールのひとつとしてご提案いたします。

イベントの成果を最大化する

イベント・アーカイブス

取材

記事作成

写真撮影

動画撮影

ニュース配信

イベント専門出版社の取材力と発信力、撮影・編集のプロフェッショナルとのネットワークを活かし、自社セミナー、新商品発表会、展示会出展などの、プロモーションの様子を再編集し、アーカイブ・編集することで、イベントの出展効果を最大化できます。

イベント・アーカイブスについてのお問合せは

株式会社 MICE 研究所

〒105-0004 東京都港区新橋 5-12-9 ABCビル 5F

TEL 03-6721-5303 / info@event-marketing.co.jp

<https://www.event-marketing.co.jp>

展示会 開催宣言！

Japan IT Week 春 2025 (IT・DX・AI 総合展)

イベント業界こそ、DX。そのヒントがここに



RX Japan (株)
Japan IT Week 事務局
営業統括
丹野 史也 さん

Japan IT Week 春 2025 (IT・DX・AI 総合展) が 4 月 23 日から 3 日間、東京ビッグサイトで開催される。今回は展示会の構成が一新され、4 つのウィーク体制としての初の春開催となる。RX Japan 株式会社 Japan IT Week 事務局 営業統括の丹野史也さんに話を聞いた。

Japan IT Week の歴史は 1992 年にさかのぼる。ソフトウェア開発の展示会としてスタートし、時代の要請に応じて展開してきた。これまでは 12 の構成展で運営されていたが、「規模が大きくなるのは嬉しいことですが、来場者と出展者のマッチングという点を考えると、テーマが 12 個あると少し違和感がありました」と RX Japan の丹野史也さんは語る。

そこで昨年 7 月から展示会の構成を見直し、システム開発・運用・保守に携わる『Japan IT Week』、デジタルトランスフォーメーションに関する『Japan DX Week』、営業・マーケティングが抱える課題に対応する『営業・デジタルマーケティング Week』、EC・店舗を持つ企業向けの『EC・店舗 Week』の 4 つのウィーク体制へと生まれ変わった。

「IT Week という名前に馴染んでいらっしゃる企業様はまずビックリされますが、説明すると自分たちの出展する展示会が何の категория に属するのか明確になり、来場者とのマッチングもイメージしやすくなったと、ポジティブに捉えていただけました」と丹野さんは話す。

商談と学び・交流の両立 各ウィークのみどころ

Japan IT Week では、情報システム部門の担当者向けに『情シス応援パビリオン』を新設。「情報システム部門の方の課題に寄り添っていく

と、セキュリティだけでなく、PC 設定やライフサイクルマネジメントといった業務にもフォーカスする必要がありました」と丹野さんは説明する。特に注目すべきは、コロナ後のテレワーク推進で急増した“兼任情シス”や“1 人情シス”と呼ばれる層だ。情シスの業務を支援する企業が集まり、3 日間でセミナーを実施し、初日最後にはネットワーキングのためのオフ会も用意されている。

営業・デジタルマーケティング Week では『スキルアップのためのマーケティング交流会』を初開催。マーケティング業界の第一人者の登壇後、来場したマーケティングの課題や悩みを共有する、コミュニケーションとスキルアップの場を設ける。

EC・店舗 Week では『EC モールお悩み相談コーナー』が注目。コロナで EC の需要が伸び、EC モールへ出店する企業も多い一方で、EC 担当者が抱える悩みも非常に多い。大手モールの Amazon/ 楽天市場の担当者に、日々の運営業務に関するお悩み相談や、新たな出店検討の相談が可能となる。また、展示会では、EC ソリューションのみならず、オムニチャネルとして店舗との融合を図るサービスなども出展され、リテール事業者必見となっている。

Japan DX Week では『社内業務 DX EXPO』、『AI・業務自動化展』、『データドリブン経営 EXPO』に加え、

『現場 DX EXPO』を新設。工場や建設現場など、DX がまだまだ進んでいないデスクレスワーカーと呼ばれる現場で働く方々の DX 化支援も進んでいる。

さらに『Japan Startup Summit』も初開催。税込 50 万円以内で出展できる特別料金体系を設け、スタートアップと成熟企業の交流の場を提供する。Leading Startup Square (LSS) などスタートアップコミュニティの協力を得て、ベンチャーキャピタルとの交流も促進していく。

展示会自体も IT・DX 推進 Expo Master で付加価値を

同展では『Expo Master』という RX Japan 自社開発のデジタル

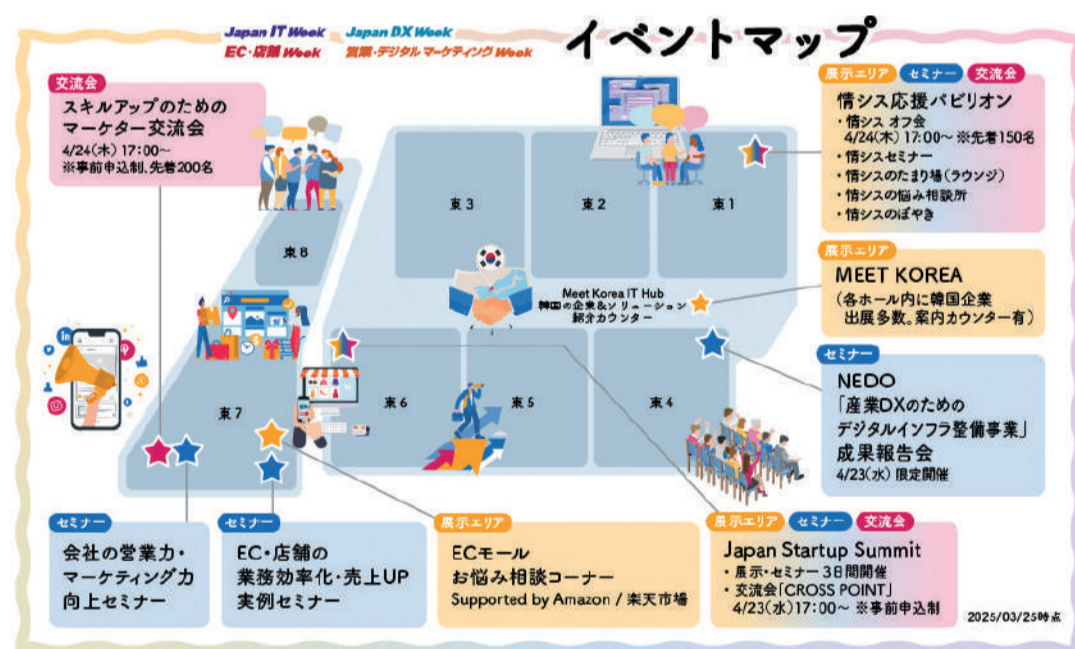
プラットフォームを導入。来場者は事前に出展者情報を検索でき、出展者は自社情報の閲覧状況を把握できる。さらに当日は QR コードによるデータ収集や、商談評価を即時ダウンロードできる機能も備えている。

「出展社の方にはぜひ会期直前ではなく、早めに準備していただきたい。かつては、先着順でスペースが取れる、というメリットが主眼でしたが、いまは、事前に動けば動くほど出展効果につながります」と(丹野さん)。出展成果最大化のためのデジタル施策も必須になっている。

「出展社・来場者のニーズを正しく把握して、応えるための展示会を作ることが私たちの仕事です」と丹野さんは語る。時代に合わせて変化

し続ける Japan IT Week は、単なる展示会から業界全体の課題解決やネットワーキングの場へと進化を続けている。この春の開催が、IT・DX 業界だけでなくイベント業界にとっても多くの気付きをもたらすことは間違いない。

4 月 23 日(水)～25 日(金)に東京ビッグサイトで開催される「IT・DX・AI 総合展」に、ぜひ足を運んでみてはいかがだろうか。



無料ご招待 イベント業界のDX化を支援する総合展

Japan IT Week 春

Japan DX Week 春

営業・デジタルマーケティング Week 春

EC・店舗 Week 春

会期 2025. 4.23 水 - 25 金

会場 東京ビッグサイト 東1～8ホール

主催：RX Japan株式会社

博覧会・展示会の企画に参画させて下さい。

IIDA

飯田電機工業株式会社

<https://iidae.jp>

お問い合わせは、下記事業所へ

■ イベント事業本部 〒136-0082 東京都東区新木場1-8-21
TEL 03(3521)-3522 FAX 03(3521)3524

■ 千葉事業所 〒261-0025 千葉市美浜区浜田2-38 専理ビル101号
TEL 043(273)2441 FAX 043(273)2531

■ 池袋サンシャイン事業所 〒170-0013 東京都豊島区東池袋3-14 文化会館3F
TEL 03(3982)-9551 FAX 03(3982)9564

■ 大阪事業所 〒550-0011 大阪市西区阿波座1-9-9 阿波座パークビル
TEL 06(6543)2880 FAX 06(6543)2884

■ 本社事業本部 〒150-0001 東京都渋谷区神宮前5-8-7 表参道IIDAビル3F
TEL 03(3409)3333 FAX 03(3409)0104

■ 本 社 〒150-0001 東京都渋谷区神宮前5-8-7
TEL 03(3409)3331 FAX 03(3409)3827

TOKYO PRO Market に上場 —— ジールアソシエイツ

イベントの企画・装飾や体験デザインをてがける株式会社ジールアソシエイツが、3月11日、東京証券取引所が運営するプロ向け株式市場 TOKYO PRO Market へ新規上場した。

同社は、「楽しい」を創る」をパーパスとしたクリエイティブカンパニー。空間創造事業、リブランディング事業、映像プロデュース事業の3つを主力事業としている。常に人々の心を動かす話題性の高い企画や空



3月11日に上場したジールアソシエイツ

間・ブランド構築に挑戦している。今回の上場を機に世の中を、もっと楽しくもっと明るくしていけるよう、事業を推進していく。

学生主体でハイブリッドイベント —— テクノス展 2025

東京工学院専門学校と東京エアトラベル・ホテル専門学校からなる総合学院テクノスカレッジが3月7日・8日の両日、テクノス展 2025 を開催した。小金井キャンパスでのリアルイベントのほか、オンライン配信も行われた。

1日目は、学生委員会活動報告、学生 AWARD2025、ダンス部卒業公演、2日目は、ミュージック科卒業ライブ、奨励賞授与式、My 卒後 VISION 格納式などが行われた。

学生委員会活動報告では、テクノ

ス展も運営するイベントチームが、入学式・進級式や、インターナショナルウィークへの企画運営などの取組みを発表した。



企画・運営も学生が行った

地方創生xテクノロジーの具体策 —— JCCB 産業部会ビジネス交流会

(一社)日本コングレス・コンベンション・ビューロー (JCCB) 産業部会は3月14日、bravesoft (株) オフィスでビジネス交流会を開催した。

テーマは「地方創生xテクノロジー～明日から実践できる具体策を持ち帰る～」とし、bravesoft 代表取締役菅澤英司氏のキーノートセッション、同社スタッフによる事例セッション、セッション内容をもとに JCCB 会員同士で意見交換し、ビジネスに活かせるアイデアを考えるグループ



bravesoft の菅澤英司さん

ワークも行われた。セミナー終了後は、懇親会も実施。bravesoft 社のデジタルツールを活用した「Live! クイズ」、「Live! ビンゴ」を使い、交流を深めた。

祖母の思い出に触れる旅 イマーシブ演劇と AR の新感覚体験

—— 大阪万博 55 周年記念フェスティバル「ツナグフィルム 1970」



映像・空間演出とイマーシブ演劇の手法で想いを伝える新しい体験価値を創り出す



2025年3月15・16日、万博記念公園で「大阪万博 55 周年記念フェスティバル」の一環として、イマーシブ演劇と AR を組み合わせた「ツナグフィルム 1970」が実施された。2日間で12公演、各回30人ほどの参加者が体験した。悪天候のなか、俳優陣の熱演と参加者も巻き込んだイマーシブな演劇、AR 演出を体験し、参加者は万博開催への期待感を盛り上げた。

主催は大府府、企画・制作は株シムディレクト、演出・脚本は劇団「激富 / GEKITONG」の中尾周統氏、監修は橋爪紳也氏が務めた。70年開催時のパビリオンが実際に設置されていた万博公園内で見られる AR は今年10月まで体験できる。

主観は大府府、企画・制作は株シムディレクト、演出・脚本は劇団「激富 / GEKITONG」の中尾周統氏、監修は橋爪紳也氏が務めた。70年開催時のパビリオンが実際に設置されていた万博公園内で見られる AR は今年10月まで体験できる。

知識ではなく感覚で 当時の想いを伝える

「ツナグフィルム 1970」は、1970年の大阪万博を舞台に、今を生きる私たちが「万博の熱」を追体験できるように制作された。

ストーリーは女子高生サクラが祖母の家でカメラのシャッターを押した瞬間に1970年にタイムスリップするというもの。俳優陣は1970年の世界を演じ、参加者は、1970年の人々と出会いながら、時を超えてつな

る万博の物語を体感していく。

スマートフォンのカメラを通して表示される AR と俳優たちの演技により、1970年と2025年の時空を行き来するような没入感のある体験ができる。次のスポットに移動する際には万博に関するクイズも実施され、楽しみつつ万博の歴史を学ぶしくみも盛り込まれていた。

参加者からは「実際の公園内を歩きながら AR で見る 55 年前の万博の光景に感動した」「演劇とテクノロジーの融合が新鮮」といった声が聞かれた。「親や祖父母が語っていた万博の記憶と重なり、世代を超えた共感が生まれた」という感想も多かった。単なる観光や歴史学習ではなく、参加者自身がストーリー展開の一部となって体験できる没入感も好評だった。「知識として万博を知るのではなく、感情として理解できた」というメッセージもあった。

参加型演劇と拡張現実が 2つの大阪万博を1つに

制作には、シムディレクトが得意とする空間演出と、中尾周統氏の演劇の手法が駆使されている。

万博記念公園の地形や建造物を活かしながら、AR で過去の映像を重ね、タイムスリップというギミックを

用い、リアルとバーチャル、過去と現在の境界を曖昧にする演出が施された。「記憶」や「継承」というテーマを、体験できるコンテンツとなった。

今回のプロジェクトは1970年の大阪万博が与えた「未来への希望」を、2025年の大阪・関西万博に向けて再び喚起する意図を持つ「記憶のアーカイブ」としての側面があり、集められた証言は今後のコンテンツ制作にも活用される。2025年大阪・関西万博でもイマーシブ体験型コンテンツが展開される予定だ。

過去の記憶と未来への期待を「ツナグ」このプロジェクトは、文章や映像とは別の新しい記憶継承の形を提示している。これからの文化や歴史の伝え方にどのような影響を与えるか注目される。

新工場 飛鳥スタジオ® OPEN

大和三山の耳成山を臨み、藤原宮跡に隣接する歴史深い地にオープン。



耳成山と藤原宮跡



サクラインターナショナル 飛鳥スタジオ事務所棟



サクラインターナショナル 飛鳥スタジオ工場棟

見学 歓迎

より豊富な展示資材を、より迅速に。

当社は自社工場を持ち、展示会、MICEをはじめとするイベントを企画・デザイン・製作・施工・運営サポートまでワンストップサービスでご提供が可能です。各種イベントの実施、展示会へのご出展の際はぜひ当社にお問い合わせください。

[飛鳥スタジオ] 〒634-0072 奈良県橿原市醍醐町 260-1 [見学受付はこちら](#) Tel:0744-47-3651(担当:伊藤)



サクラインターナショナル株式会社

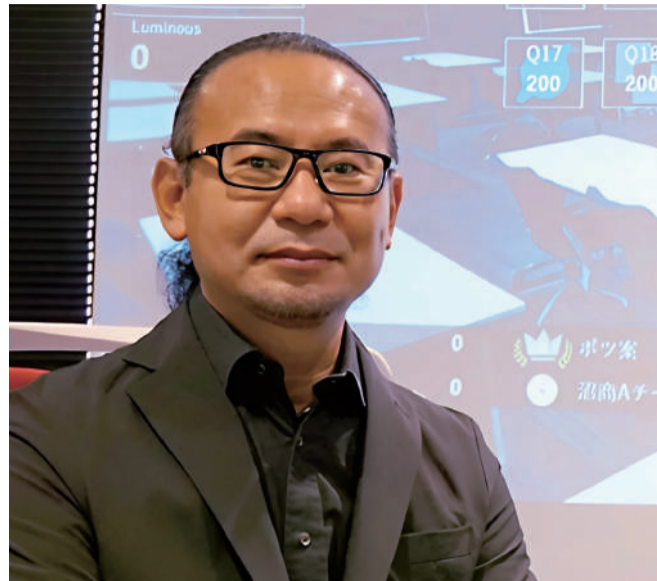
[大阪本社] 〒541-0051 大阪府大阪市中央区備後町 1-7-3 ENDO 堺筋ビル 3F・4F
 [東京本部] 〒135-0042 東京都江東区木場 2-17-13 第二亀井ビル 5F
<https://www.sakurain.co.jp>

2025年大阪・関西万博で世界大会初開催へ

国内100万人のAI/ICT人材を発掘・育成

一般社団法人未来キッズコンテンツ 総合研究所 研究開発本部 部長
全国高等学校AIアスリート選手権大会シンギュラリティバトルクエスト実行委員会 委員長

武藤 裕介 さん



武藤 裕介さん

小学生を対象としたプログラミング競技会「GPリーグ プログラミングコロシウム」、高校生向けのAI/ICTのオンライン競技会「全国高等学校AIアスリート選手権大会シンギュラリティバトルクエスト」プロデューサー。

全世界のU-18を対象としたAIの総合競技会「第1回U-18 世界AIアスリート選手権大会『シンギュラリティバトルクエスト2025世界大会』」の世界決勝が、7月31日・8月1日に大阪・関西万博会場内EXPOメッセ「WASSE」及び特設メタバース会場を舞台に行われる。国内100万人のAI/ICT人材を発掘・育成するプロジェクトとして、日本の次世代AI/ICT人材育成に大きな影響を与えそうだ。大会実行委員長の武藤裕介さんに目的や展望を聞いた。

—「シンギュラリティバトルクエスト世界大会」開催の背景と目的から教えてください

武藤 シンギュラリティバトルクエスト世界大会は高校生を対象としたAIとICTのオンライン総合競技会です。前進として、「GPリーグ」という小学生向けのプログラミングの競技会を2016年から実施してきました。集まってくる子供たちは非常にレベルの高い子たちです。例えば情報処理技術者試験に受かっちゃう小学4年生やビットコインの売買サイトをつくってしまう小学6年生な

ど、小学生にも結構いることが分かりました。

一方で、こうした子供たちを指導できる場が学校にも、プログラミングスクールにもなく、場を作ろうという想いに駆られ、発展させて2018年から開始したのが高校生向けの「シンギュラリティバトルクエスト」。この大会が目指しているものは、AIに使われる人材ではなくAIを使いこなす未来人材の発掘・育成です。

—今年は、世界大会としてさらに発展されるんですね

武藤 世界大会開催の目的は様々ありますが、やはり一番大きいのは、日本の高校生が戦っていくためには世界環境を知らないといけません。オンラインでの開催もパソコンとインターネットさえあればどこからでも参加できるというスタイルで、格差のない学習環境を提供しています。

また、今年は大阪・関西万博の開催年でもあるので、万博を活用し、ICT教育とデジタル人材の価値を世界に発信し、全世界の若者たちにAIX (AIトランスフォーメーション)

の時代を生き抜くスキルを提供する絶好の機会です。さらに、併催する小中学生向けプログラミングワークショップ「GPリーグ：アルテミス & 鉄プロ」は、幅広い世代にデジタル教育の可能性を広げ、未来のイノベーター育成を促進します。この取り組みは、日本のデジタル基盤を強化する重要なステップとなります(図参照)。

—シンギュラリティバトルクエスト世界大会ではどのような競技が用意されているのですか

武藤 5つの競技カテゴリで構成されています。

「ホモ・デウス世代のペナタスロン(五種競技)」として「AIクエスト：人工知能領域に関する競技」「サイバークエスト：サイバー領域に関する競技」「データクエスト：データサイエンス領域に関する競技」「ロボク

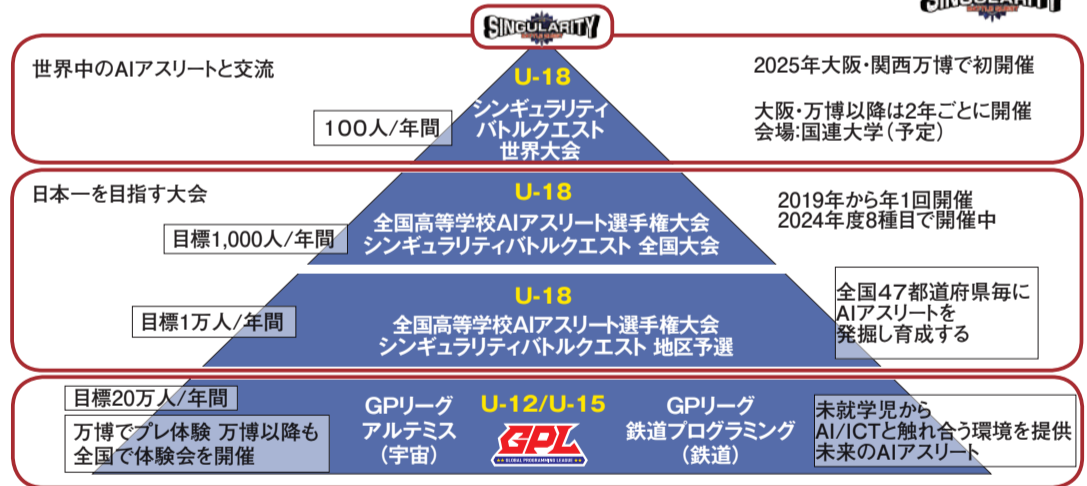
エスト：ロボティクス領域に関する競技」「Xクエスト：人とコンピュータの相互作用領域に関する競技」です。

サイバーセキュリティ人材の育成は国も力を入れていて、2024年大会から防衛省と警察庁に後援もいただいています。参加してくれた高校生のなかには、サイバークエストで面白さに沼って(本人談)、情報工学系大学の進路希望だったのを防衛大学に変更し、見事合格したというケースもありました。

—今後の展望について改めてお聞かせください

武藤 文化系大会や体育系大会がありますが、本大会はギーク系のオリンピックのような存在となることを目指しています。世界にもまだない、日本発の大会として育てていきたいと思っています。

2030年までに100万人のAI/ICT人材の育成を目的とした活動



EVENT MARKETING

FREE PAPER

読者Profile

大手メーカー・メーカー

▶年間イベント件数:約20件
デジタルマーケティングとオフラインを組み合わせて販促とファンづくりに

**製薬会社
ミーティングプランナー**

▶年間イベント件数:100件超
業界のファーストムーバーとして異業種のトレンドを知り講演会に活かしたい

**IT企業向け
マーケティングサポーター**

▶年間イベント件数:約150件
イベントマーケティングに関わるテクノロジーやツールについて情報収集したい

特集

イベントマーケティングのトレンドを国内外の事例や動向から分析し、メーカー・イベントの皆さんと共有します。

国内・海外ニュース

ツールやテクノロジーの最新情報、開催直前概況・事後レポートなどを紹介します。

コラム

幅広い視野と独自の視点、経験をもつ著名人が執筆します。

インタビュー

リアルコミュニケーションを楽しくをテーマに話題の方々ほか、インベーター、イベントメーカー、主催者の声を収録。

調査・レポート

効果測定や開催状況の集計、効果最大化の手法など、face to faceを科学するレポートをお届けします。

毎月30日発行

定期送付申し込み

発行所: 株式会社 MICE 研究所
〒105-0004 東京都港区新橋 5-12-9
ABCビル 5F
TEL03-6721-5303
sofu@event-marketing.co.jp